

「ものづくりの音ひびく村」事業

取組に至る背景・事業の目的

朝日村には村外から移住されたクラフト作家が多く、工房を構え暮らしに潤いを与えてくれる様々なものを製作している。
イベントを通じてこうした作家同士の絆を深め、村内外へPRすることで朝日村の魅力を発信し、産業の活性化につなげる。

事業内容

- ① 廃バス停で工房目印看板作成
作家が協働し、廃バス停を再利用した工房目印看板を作成し、展覧会で一堂に会し発表。
- ② 村内工房マップ付き工房紹介冊子作成
作家が工房マップを、村美術館職員が工房取材を担当し、村内工房紹介冊子を1万部作製。公共美術館、図書館、観光情報センター、技術専門学校などに配布。
- ③ 「造形する手 朝日村の作家たち展」開催
冊子に掲載されている作家たちの作品展を開催。作家によるパネルディスカッションを行い、今後の創作活動と発信のしかたについて話し合った。

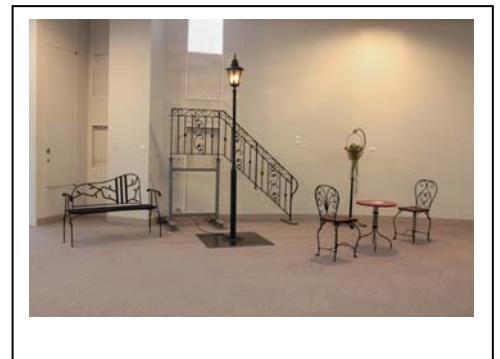


【 廃バス停を再利用した案内看板 】

事業効果

村で製作に励む作家たちを広く知ってもらい、多くの方に村へ足を運んでいただけるように取り組んだ結果、展覧会には目標の倍近い1,149人の入場があった。

また、紹介冊子や作品展がマスコミにも話題となり、テレビ、ラジオ、新聞に多数取り上げられ、ものづくりをする人々が生き活きと暮らす朝日村を広くPRすることができた。



【 作品展展示作品 】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

今回の事業の取り組む中で、作家たちの集まりに「朝日村つくりびと」という名称がつけられた。今後は「朝日村つくりびと」が活動の母体となるよう組織化し、行政もサポートしながら定期的に会議を続け、朝日村のものづくりを発信するイベントなどを企画・実施していく。

【選定のポイント】

不要となったバス停を活用した特徴的な案内看板の製作や、工房紹介冊子の作成、またクラフト作家の作品の展覧会の開催を通して、作家同士の繋がりを築くとともに、「ものづくり朝日村」を村外に向けて広くPRし、村の産業の活性化に繋げている点を評価した。

団体名	朝日村（教育委員会）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0263-99-2004	事業費	478,400円
		支援金額	401,000円